



建設キャリアアップシステム 利用料請求データの補正作業ミスに伴う個人情報漏えいについて

今般、CCUS の現場利用料請求データの補正作業ミスにより、一部の元請事業者が他社の現場の技能者名等を閲覧できる状態となり、個人情報の漏えいが発生しました。

直ちにミスを修正したうえでシステムを正常な状態に復旧させるとともに、その後の調査により、漏えいの内容等が判明したことから、現在、関係者への謝罪を行っているところです。

CCUS 利用者及び関係者の皆様に多大なご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、再発防止及び情報管理の徹底に努めてまいります。

以下で、その具体的内容について説明いたします。

1 概要

2019年8月9日（金）から20日（土）までの間、一部の元請事業者が、2019年8月請求分の現場利用料を確認するため※、自社現場の就業データを閲覧した際、本来表示されないはずの他社の現場で就業した技能者名等が一部閲覧できる状態となっていました。

本件は、2019年8月19日（月）、元請事業者からの問い合わせにより判明しました。

※ 現場利用料は、現場登録を行った元請事業者に請求することとなっています。

2 原因

現場の就業データについては、CCUS で現場登録した事業者等が、固有の ID 番号とパスワードを使ってアクセスすることによって、本来、自社の現場に限って、閲覧が可能となります。

8月9日（金）及び13日（火）にデータ補正作業を行った2,149件について、誤った元請事業者名を付加するミスが発生したため、他社の現場を自社の現場とされた元請事業者が、他社の現場データまで閲覧可能となりました。

3 影響の範囲

① 漏えいの件数

技能者 1,881 名が就業したデータ 2,149 件（8月9日（金）525件、8月13日（火）1,624件）。ただし、技能者のデータは誤って付加された元請に対してのみ漏えいされました。

② 漏えいの内容

就業年月、所属事業者名、技能者 ID/技能者名、現場 ID/現場名

③ 漏えいの範囲

他社の現場データ閲覧が可能であったのは、CCUS で現場登録している元請事業者の中の36社であり、このうち、現場データへのアクセスログが記録されているのは23社です。

なお、元請事業者36社の各社が1,881名のデータ全てを閲覧可能だったわけではなく、最も多い会社で、閲覧可能だったのは197名分です。

④ 現場利用料請求額への影響

各元請事業者に対する現場利用料については、問題判明後、直ちにミスを修正し、誤った内容の請求には至っておりません。

4 これまでの対応

8月20日（火）19:00 システム停止（閲覧できない状態とした）

8月22日（木） データ修正

8月23日（金） 6:40 正常復旧

8月20日（火）より 原因、漏洩範囲等の調査、再発防止策の検討

9月13日（金）より 関係者への謝罪文書送付

5 再発防止策

今回の事案を含め CCUS で行っているデータ補正作業をリストアップし、作業を自動処理化することにより、人為的ミスを排除するとともに、作業終了後のダブルチェックの仕組みを構築し、9月10日（火）より適用しています。

なお、今回のデータ補正作業は、委託先において行ったものでありますが、当財団の委託先に対する管理監督も一層強化していく必要があると考えております。

これまで当財団は、委託先に対するセキュリティアセスメントを実施するとともに、業務実施状況の把握に努めてきたところですが、今後は、業務手順を確認するとともに、定期的な監査の実施等契約内容の見直しを行い、管理監督の強化及び情報管理の徹底を図ってまいります。

以上

問い合わせ先

一般財団法人建設業振興基金

建設キャリアアップシステム事業本部

運営管理部 今泉、佐藤

電話 03-5473-4586